

4年ぶりに校内相撲大会

6月28日、本郷小学校で全校児童による校内相撲大会が4年ぶりに行われました。

校内相撲大会は、同校近くの愛宕神社で開かれる伝統行事「愛宕神社子供奉納相撲」の継承と、「体力向上、集団で協力して取り組むことの大切さ、地域の伝統を親しむこと」などを目的として、15年前から授業の一環として始まりました。また、同校が今年で創立150周年を迎えることを記念して、土俵開設当初よりご縁のある、春日野部屋呼び出しの次郎さんや関係者のご協力のもと、土俵が造り替えられました。

取り組みは、全校児童を縦割りの6チームに分かれた団体戦とし、3チームでの予選リーグが行われたのち、1位同士、2位同士、3位同士の順位決定戦が行われました。

土俵の上では、力強い「押し相撲」の熱戦が繰り広げられ、応援する児童や保護者からは「頑張れ！負けるな！」など、熱い声援が響き渡りました。



夏季点検及び感謝状の贈呈

夏季点検

6月17日、富士山公園で、上三川町消防団及び石橋地区消防組合上三川消防署の夏季点検が行われました。

夏季点検では、点検者である町長が団員や署員の人員並びに服装点検を実施し、稲葉長広団長や蓬田幸雄署長の指揮のもと、団員と署員が規律ある動作で点検を受けました。



消火活動協力者への感謝状

6月17日、上野一弘さん（城台）、柿沼悦夫さん（多功下坪）、上野貴俊さん（城台）の3人へ、町長から感謝状が贈られました。

3人は、令和4年12月7日に発生した多功地内での建物火災において、速やかに消火活動に協力し、早期鎮圧に大きく貢献されました。



左から、星野町長、上野(一)さん、柿沼さん、上野(貴)さん